

就任の ごあいさつ

3月議会定例会で、副村長に野崎真司さん(元県職)、教育長に松野孝雄さん(新所)が選任されました。任期は、副村長が3月24日から4年間、教育長が3月26日から3年間です。

南阿蘇村副村長

野崎 真司



3月24日付けで副村長の命を受けました。

昨年の震災後、1週間目に熊本県庁から南阿蘇村に派遣され、以来、政策審議監として村職員と一緒に災害対策にあたってきました。

発災直後は、想定を超えた被害の中、被災者でもあった村職員は疲弊し、避難所や災害対策の拠点となるべき役場内も混沌とした状況でした。

それを乗り越えられたのは、最大で1日に200名に達する県内外の自治体から派遣された職員の支援や手弁当で駆けつけていただいたボランティアの皆さんの支援があったからです。村として、この恩は、他の地域で大規模な災害が発生した際に、真っ先に駆けつけ、お返ししなければならぬと思います。

こうした状況を経て、ようやくですが、復旧に向けての

道筋は見えてきたと思っています。被災者の皆さんが日常生活を取り戻し、将来に向けた次の一歩を踏み出せるよう、まずは、被災された方々の住まいの確保、特に仮設やみないの確保、特に仮設やみない仮設での生活を余儀なくされている方々の住まいの確保を進めていかなければなりません。具体的には宅地被害対策による自力再建を後押しし、自力再建が困難な方々への災害公営住宅の提供についてスピード感を持って進めていくことです。

また、道路などのインフラ復旧や砂防や治山対策も概ねスケジュールは示されましたが、少しでも前倒しになるよう関係機関に働きかけていくことも必要だと考えています。これまで、災害対策の特命的な立場から、村長を補佐する立場で村政全般に関わって参ります。復旧の道筋を確実

なものとしていくことはもちろん、地震前より少しでも良くなったと感じられるよう、創造的復興を進めて参ります。

県では、1997年の世界ハンドボール選手権大会組織委員会や、ブランド推進課でくまモンを仕掛けるなど、県職員としては一風変わった(？)仕事にも携わりました。こうした経験も生かしながら、全力を尽くしますので、よろしくお願ひします。

プロフィール

熊本県天草市出身
平成2年 熊本県庁入庁
趣味は渓流釣り。昨年は一度しか行けませんでした。今年
は…
南阿蘇村河陰在住(単身赴任)。
熊本市市内に妻と息子3人。